

年 号	町 の で き ご と	参 考 事 項
明治39年 (1906)	<ul style="list-style-type: none"> ・只見郵便局がひっこす。 	
明治40年 (1907)	<ul style="list-style-type: none"> ・小林小学校で、ベースボール・テニス・フットボールをはじめ、村に広まる。 ・義務教育が6年になり、高等科は2年となる。 	
明治41年 (1908)	<ul style="list-style-type: none"> ・ち水工事や、耕地整理がはじまる。 	
明治42年 (1909)	<ul style="list-style-type: none"> ・塩沢で塩をとることをやめる。 ・養蚕組合が各地区にできる。 ・田や畑を馬でたがやすようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・塩沢では、昔から塩水をくみ水を蒸発させて、塩を作っていた。
明治43年 (1910)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊南川が大洪水になる。 ・鉾山がさかんになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南会津地方の鉾石は、銅鉾石が多い。鉾山で仕事をする人が1000人以上もいた。
明治44年 (1911)	<ul style="list-style-type: none"> ・小林・黒谷・只見の局で電信ができるようになる。 ・小林小学校が改築される。 	
大正元年 (1912)	<ul style="list-style-type: none"> ・各村に青年会がつくられ活躍する。 ・朝日座が各地で歌舞伎を上演する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が初めてオリンピックに参加する。
大正2年 (1913)	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨・大洪水・大凶作の年となる。熊倉分校や川すじの田畑がほとんど流される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このころの人々は、大部分が農業を営んでいた。副業に、養蚕や炭焼きが行われていた。
大正3年 (1914)	<ul style="list-style-type: none"> ・生糸のねだんが下がる。 ・生活が苦しくなる。 ・岩越鉄道が開通する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦がはじまる。 ・只見から一番近い駅「野沢」までが60キロメートルあった。
大正5年 (1916)	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうチフスがはやる。 ・物の輸送に馬車が使われるようになる。 ・大洪水がある。 	
大正6年 (1917)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊北小学校の新しい校舎が上ノ原にできる。 ・講演会がはやる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このころ只見・黒谷・小林に本校、布沢・二軒在家・熊倉・石伏・蒲生・塩沢に分校があった。学校から遠い児童生徒は、冬になると寄宿舎に泊まっていた。青年たちは、夜集まって勉強していた。
大正7年 (1918)	<ul style="list-style-type: none"> ・生糸や米のねだんが高くなる。 ・教育費が国から出るようになる。 ・このころ敬老会・雄弁大会・品評会・運動会などが盛んにおこなわれる。 	